

一般社団法人日本脳神経外科学会
平成 30 年度 事業計画書
(自平成 29 年 9 月 1 日～至平成 30 年 8 月 31 日)

1. 学術総会・学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 項第 1 号）
 - ・一般社団法人日本脳神経外科学会第 14 回社員総会を下記のとおり行う
日時：平成 29 年 10 月 12 日(木)
場所：名古屋市 名古屋国際会議場 参加予定者数：300 人
 - ・一般社団法人日本脳神経外科学会第 76 回学術総会を下記のとおり行う
日時：平成 29 年 10 月 12 日(木)～平成 29 年 10 月 14 日(土)
場所：名古屋市 名古屋国際会議場ほか 参加予定者数：5,000 人 演題数：2,500 題
 - ・一般社団法人日本脳神経外科学会支部学術総会を下記支部毎に複数回開催する
北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州
2. 学会誌及びその他の刊行物の発行（定款第 4 条第 1 項第 2 号）
 - ・学会機関誌 Neurologia medico - chirurgica（英文月刊誌・月号当り掲載論文 7～10 編）
を下記のとおり発行する
平成 29 年 9 月 15 日 Vol.57, No.9 ～ 平成 30 年 8 月 15 日 Vol.58, No.8
 - ・Vol.54, No.1 よりオンラインジャーナル化したことにより紙媒体で発行する部数は、特別号（年 3 回）9,000 部（全会員へ配付）と通常号 400 部（紙媒体冊子購入希望者用）
3. 脳神経外科専門医等の認定（定款第 4 条第 1 項第 6 号）
 - ・脳神経外科学の進歩発達とその診療水準の向上を図り、国民の福祉に貢献することを目的とし、専門医認定制度を設置している。
平成 30 年度は下記のとおり専門医認定試験を実施する。
日時：平成 30 年 8 月 30 日(木)～平成 30 年 9 月 1 日(土)
場所：東京国際フォーラム 受験者(見込)240 名、合格者(見込)170 名
内容：筆記試験、口頭試問
4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第 4 条第 1 項第 3 号）
 - ・大型研究プロジェクトの助成
 - ・佐野圭司賞を原則 1 名表彰する
 - ・学会奨励賞 3～5 名及び特別賞 1～2 名表彰する
 - ・齋藤眞基金奨励賞を下記のとおり表彰する
国際賞、社会賞、学術賞、地域功労賞、各 1 名表彰する
5. 関係学術団体との連絡及び協力（定款第 4 条第 1 項第 4 号）
 - ・国内の関連学会の活動に連携、協力するとともに、日本医学会、日本専門医機構、日本医療安全調査機構の社員、所属会員として、貢献・寄与を継続する
6. 国際的な研究協力の推進（定款第 4 条第 1 項第 5 号）
 - ・世界脳神経外科学会連合（WFNS）World Federation of Neurosurgical Societies 及びアジア・オーストラレイシア脳神経外科学会（AASNS）Asia-Australasian Society of Neurological Surgeons の一員としての国際的学会活動を積極的に展開するとともに、WFNS 教育コースへの講師派遣
 - ・本学会及び関連学会が主催または後援する国際学会への補助金制度の実施
 - ・日独ジョイントセミナー開催

7. 一般への普及啓発活動（定款第 4 条第 1 項第 7 号）
 - ・ 学術総会及び支部会時に市民公開講座を開催し、脳神経外科医療の市民啓発を積極的に展開する。
8. 脳神経外科の医療に関する調査研究事業（定款第 4 条第 1 項第 8 号）
 - ・ 脳腫瘍全国統計調査
 - ・ 未破裂脳動脈瘤悉皆調査
 - ・ Pipeline Flex フローダイバーターシステム製造販売後使用成績調査
 - ・ 脳神経外科学会データベースを用いた医療機器開発のためのコンソーシアムの運用と実用に関する研究
9. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 1 項第 9 号）
 - ・ 一般社団法人としての公益目的支出計画の実施
 - ・ 脳神経外科手術症例オンライン登録事業
 - ・ 脳神経外科医へのリクルート活動
 - ・ 学術総会運営の IT 化等の推進
 - ・ 医療安全講習会等の実施